

より良いまちにするため

令和3年しもすわ未来議会 開催



若者の視点から

町政へ提言

11月16日(火)、「令和3年しもすわ未来議会」が開催されました。「しもすわ未来議会」は、未来を担う中学生・高校生が、若者の視点から地域社会や将来のまちづくりについて主体的に考え、積極的に意見や提案を発信し、社会参加や参画・協働の意識を高めることを目的に、平成21年度に始まりました。

未来議会では、各校から選出された生徒が議員となり、通常の町議会と同様に議場に集まり、町に対し一般質問を行っています。

これまで、しもすわ未来議会から提案され事業化されたものとしては、「ニュージラランドへの中学生海外派遣」「しもすわガードンプロジェクト」「こども未来バス設置」などがあります。

昨年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、議会形式では開催しませんでした。今年、議員となる生徒のみ議場へ集まり、他の生徒は学校にてオンライン配信を視聴することで感染対策を行い、2年ぶりの開催となりました。

当日、カメラの向こうで多くの生徒が見守る中、8人の議員の皆さんは緊張した面持ちで議席に座り、午後1時40分に本会議が開会しました。

町からは宮坂町長をはじめとする理事者や課長が出席し、森安夫町議会議長の進行により進められました。

開会にあたり宮坂町長から、「これからの下諏訪町が安心して快適に暮らすことのできる、賑わいのある町であり続けるために、原動力となるのは、まさに次代を担う皆さん方です。学校でご覧になつていらっしゃる生徒の皆さんも含め、この機会に町について見直し、まちづくりに対するご自身のお考えをお持ちいただくださっけにしていただければ幸いです。」とあいさつがありました。



議員の皆さんは順番に質問席に着き、持ち時間10分間という限られた時間の中ではありましたが、自分たちが町で暮らす中で感じていふことなどを基に、町がより良くなるよう質問や意見、提案を行いました。

一般質問終了後に、議員を代表して下諏訪中学校の高木由衣花議員から、「コロナ禍で中止も検討されたかと思いますが、私たち中高生の意見を直接聞いていただける機会を設けていただきありがとうございます。私たちは、下諏訪町の発展を願い、各学校の代表として意見や提案をさせていただきます。不安や緊張もありましたが、自分の伝えたいことを伝えられたと思います。この提案が、町の行政に反映され、町の発展、活性化に役立つことを願っています。」とあいさつがあり、本会議が閉会しました。

次のページに各議員の質問の要旨を掲載しています。

議席1 植松心希議員
(下諏訪向陽高校)



「文化部の発表の機会について」
「向陽坂の街灯について」

植松議員 コロナ禍で文化部の発表を地域の方に見ていただく機会が無くなり残念です。例えば赤砂崎公園で小中学校の文化部なども一緒に、地域に発表する機会を設けられないでしょうか。

町 三角八丁や宵祭りなどに参加していただければ交流も増えると思います。新しいイベントを町が主体で行うことは難しいですが、学生が主体となって計画、準備、運営等を進めることには町としても協力したいと思っています。

植松議員 向陽坂(武居地区)の街灯が老朽化し、明るさが不十分と感じます。安全確保のためにLEDライトにしてほしいです。

町 これまで、区などが主体となり防犯灯の設置を進めてもらっています。学校と地域で協議をしていただきたいと思います。防犯灯設置に対する町の補助制度もあります。

議席2 中村悠月議員
(下諏訪向陽高校)



「通学路の整備について」
「SNSを使った自然や文化の発信について」

中村議員 通学路となる武居地区道路の側溝の蓋が古かったり、蓋がない場所が多く、通行に危険があると感じます。側溝の蓋を取り付けていただきたいです。

町 側溝等の改修要望については、全町で優先順位を付けて対応を進めています。武居地区についても、すぐに全線は難しいですが、年次計画を立てて進めていきます。

中村議員 下諏訪町は、自然や文化の発信が少ないと感じます。SNSで情報発信をしたり、SNSを使ったフォトコンテストを開催してみてもどうでしょうか。

町 SNSでの発信は下諏訪町観光振興局が中心となり、観光誘客サイトと連動して行っています。フォトコンテストのような企画についても検討していきたいと思っています。

議席3 山田ひより議員
(下諏訪向陽高校)



「賑やかな下諏訪町について」

山田議員 下諏訪駅の売店がなくなり、駅がさみしいと思います。駅の利用者のために、売店を復活させる、もしくは食品の自動販売機を設置してほしいです。

町 現在、JRの方から売店跡地を町の活性化に活用できないか投げかけをいただいています。例えば、町で起業したい方の試行店舗など、活用方法を検討しているところです。

山田議員 観光スポットに顔はめパネルを設置していただき、思い出に残る写真を撮れるようにしてほしいです。顔はめパネルラーの実施も面白いと思います。

町 これまでも歩いてまちを巡ってもらうことを売りにしているところですので、それに顔はめパネルラーを組み合わせたのは面白いと思います。検討していきたいと思っています。

議席4 高木由衣花議員
(下諏訪社中学校)



「コロナ禍で減った観光客を増やす方策について」

高木議員 コロナ禍で減った観光客を増やすためのアイデア等を町民から募集してはどうでしょうか。

町 観光誘客サイトやSNSの記事を見ていただき、アイデアが浮かべば直接メッセージを送っていただきたいと思っています。

高木議員 観光客が気持ちよく過ごせるよう、諏訪湖周辺をきれいにする活動をもっとしたらどうでしょうか。

町 ボランティアによる清掃活動に感謝しています。町も県と一緒に水質浄化に取り組んでいきます。

高木議員 観光客が安心してまちを歩けるよう、温泉熱による道路の凍結対策を行ったらどうでしょうか。

町 諏訪ー岡谷バイパスの一部で計画しています。街なかについては、大きな経費が掛かりますので先進事例を検証したいと思っています。

議席5 増沢拓議員
(下諏訪社中学校)



「学校の環境整備について」

増沢議員 学校の講堂の屋根から大きな音がしたり、雨が当たる音が大きく授業に支障が出ています。また、教室の机がガタついたり、雨漏りがしている教室もあります。対策ができないでしょうか。

町 講堂の音については、東日本大震災で天井が落下した施設があったことを受け、吊り天井を撤去したことが原因だと思われれます。対処には大規模な工事が必要なことから、今すぐの対応は難しい状況です。

増沢議員 机を含めた備品の更新についても、一斉に更新することは難しいですが、社中を含めた小中学校全体の状況を見ながら順次対応していきたいと思っています。

町 雨漏りは、昨年度の調査で原因がつかめなかったところですが、再度調査して対応したいと思います。

※掲載している写真は、議会終了後にマスクを外して撮影したものです。議会中はマスク着用など感染対策を徹底して行いました。

議席6 山口泰河議員
(下諏訪中学校)

「下諏訪の魅力体験する方策について」



山口議員 体験型の観光として観光客に江戸時代の旅人の格好してもらい、町内の散策をしてもらうのはどうでしょうか。モデルコースも用意しておきます。

町 宿場町の風情を感じて楽しんでもらえると思いますので、観光客のニーズ調査を行う中で、観光プログラムの一つとして販売できるか検討します。

山口議員 コロナ禍が終わり、外国からの観光客が再び訪れる時のため、多言語による「しもすわ宿場町観光マップ」の作成を提案します。

町 観光協会で平成30年度にまちあるきマップの英語版を作成しています。また、4つの言語でおすすりコースを紹介するQRコードのついたマップもあり、今後も多言語対応については随時見直したいと思えます。

議席7 濱心太郎議員
(下諏訪中学校)

「今のコロナ禍で学生たちの思っていることを世の中に広めることについて」



濱議員 コロナ禍の中で、一部の大人は好きなことをしているのに、特に私たち学生は好きなことや楽しみにしていたことが中止や延期にされるなど、色々な制限を受けています。学生たちの思いを知ってもらうため、学校でアンケートをとり、町の広報誌などに掲載してほしいです。

町 アンケートで皆さんの気持ちをお聞きすることは試してみたいと思います。設問を考える際には、濱議員のご意見を伺いたいと思えます。

町 クローズアップしもすわについては、年間で構成を考えているので難しいですが、例えば、地域の方に配布する学校だよりで特集を組み、自分たちの力で地域に発信してみたいかどうか。地域への配布には町も協力します。

議席8 宮地駿虎議員
(下諏訪中学校)

「あすなる公園への消防車の展示について」



宮地議員 今年で引退する第3分団消防車をあすなる公園に展示してはどうでしょうか。若い世代の人たちが消防に興味を持つきっかけになり、消防団に入団する人が増えると思えます。

町 引退予定の消防車については、装備品はまだ使えるものがあるので取り外す予定です。装備品のない車だけ展示することになってしまつので、現状では難しいと思えます。あすなる公園の目の前に消防署があり、見学も可能です。

宮地議員 町独自の消防団員募集ポスターを制作してはどうでしょうか。

町 令和元年に独自のチラシを作成しました。消防団屯所のシャッターに学生が絵を描いたところもあるように、今後ポスターを作成する際には、皆さんのアイデアを採用したいと考えています。

本会議を見守る生徒たち

オンライン配信により町内中学校の3年生、下諏訪向陽高校生徒自治会の皆さんが、各校の代表生徒が質問する様子を傍聴しました。

議員だけではなく、傍聴した生徒それぞれが下諏訪町の将来のことを考え、学習する場となりました。



下諏訪中学校



下諏訪向陽高校



下諏訪社中学校

若い皆さんが町を支えてくれることを確信できた

いい話し合いができ、非常に有意義な議会となりました。質問の組み立て方が大変素晴らしいと思ったと思います。それぞれの皆さんが、下諏訪町に対する想いと、この町を暮らすための魅力のな町にするためにはどうしたらいいんだろうという、しっかりと考えたことを持っていることが実感でき、とても心強く感じました。今後も、住みやすいまちづくり、進学等で町を離れる人にとっても魅力的なふるさと、そして住んでみたくなる下諏訪町としてまちづくりを進めていきたいと思えますので、皆さんのお力添えをいただきたいと思えます。

町長の講評より



質問と答弁の全文については、町のホームページで「しもすわ未来議会会議録」を掲載しますのでご覧ください。